

防災連絡会議だより

19号 (令和4年4月4日)

発行 北斗市防災連絡会議

北斗市防災連絡会議 北海道社会貢献賞（防災功労者）を受賞

令和3年度の北海道社会貢献賞の受賞者に北斗市防災連絡会議が選ばれ、北海道知事より表彰状と記念の盾が贈られました。連絡会議を支えていただいている事務局の方々と共に喜びを分かち合いたいと思います。事務局からのお祝いのメッセージをご紹介します。



<事務局からのメッセージ>

この度の受賞は、これまでの防災に対するご功労と、今後も市民と行政との懸け橋的な役割を担っていただき、幅広く防災知識の普及や防災意識の向上を図っていただくことが期待される団体として選ばれました。会議でも、お伝えしましたように、防災連絡会議の会員お一人お一人が各地域の市民の代表であるということ

とで事務局も考えておりますので、今後も月例の幹事会を通して北斗市の防災について検討を重ね、だれ一人取り残さない災害に強い北斗市を目指して参りたいと思いますので、お力添えをいただきますようよろしくお願いいたします。北斗市防災連絡会議の、今後一層のご活躍をお祈りいたしております。

<代表よりメッセージにお礼申し上げます>

5月の総会は通常どうり開催予定

今年の総会を通常の形で開催したいと思い準備を進めています。ただ、感染症の状況によっては書面決議も考えていますので、この点についてはご理解を賜りたいと思います。

3月30日に代表と事務局との会議が行われ、次年度の主な活動について報告を行うとともに、事務局からお願いもありましたので、このことについてお知らせいたします。

<次年度の活動について>

次年度の活動の骨子として、①町内会ごとの避難経路の確認、防災訓練の実施、②持続可能な組織づくりと組織の見直しを提案しています。①については総会で説明します。②は代表を1名とする従来の役員組織に戻したいという提案です。また、今年は役員改選の年です。立候補される方は4月12日（火）までに事務局まで電話等でお知らせください。

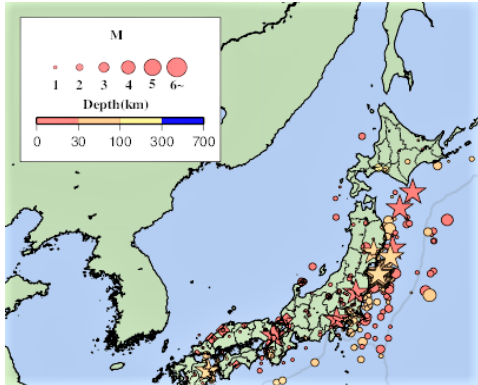
<事務局からのお願いについて>

市はハンドブックの改訂を実施します。そのために、会員の意見を集約したい考えです。事務局はレイアウトを含めて全体を見てほしいとのことです。従って、具体的な修正箇所の説明はありませんので、総務から二つの注視すべき観点、特に注意して見ていただきたいポイントについてお知らせいたしますので、参考にいただければ幸いです。

○地図表現・・・地震・津波が鳥瞰図、洪水・土砂が地理院地図をもとに浸水深でランク分けした区分図となっています。見やすい、わかりやすい地図とはどのような地図でしょう。
○指定避難場所・指定緊急避難場所・・・会員の居住する町内会や隣接の町内会を含めて間違いがないか、見やすい表示かどうかなど、見ていただきたいと思います。

宮城、福島で震度6強 M7・3、石巻で津波20センチ 東北新幹線脱線

2022年3月16日、宮城沖地震が発生。宮城県の地方紙である河北新報の見出しには、「深夜に激震連続 津波心配、即座に避難」宮城、福島で震度6強」「仙台城の石垣崩落 地震の影響か」、「東北新幹線福島ー白石蔵王間で脱線 乗客・乗員約100人にけがなし」、「女



川、東通原発に異常なし 5県で15万7400戸停電 東北電力」などとあります。仙台の友達の話では仙台の南部での被害が大きいとのことでした。確かに、震度6強を観測した相馬市や南相馬市は福島県北部、また、東北新幹線が脱線したのは宮城県南部の白石市。宮城県と福島県の県境に被害は集中しているようです。この福島県沖地震の後、余震もあり、この地域以外でも地震が多発しています。警戒が必要です。

気象庁の図の説明>震度1以上を観測した地震について、地震の発生場所(震源)やその規模(マグニチュード)、各地の震度について発表した情報を掲載しています。

金子みすゞの詩の世界・・・こだまでしょうか

東日本大震災後にテレビなどでACジャパンのCMとして金子みすゞの詩が放送されています。「こだまでしょうか」という詩ですが、テレビでご覧になったことと思います。

「遊ぼう」というと「遊ぼう」という。「馬鹿」というと「馬鹿」という。「もう遊ばない」というと「もう遊ばない」という。そして、あとでさみしくなって、「ごめんね」というと「ごめんね」という。こだまでしょうか、いいえ、誰でも。

この詩の最後にある「いいえ、誰でも」の解釈はいかがでしょう。町内会でも「言葉をかける」運動が提唱されていますね。詩を読むことは個人的な体験で、これまで生きてきた人生の道筋によって自分だけの読み方があるようです。詩人の心と一つになれる詩を見つけるのも人生を豊かにすることにつながるかもしれません。

※ 金子みすゞ・・・大正末期から昭和初期にかけて活躍した童謡詩人。数多くの詩は「童謡」「婦人倶楽部」「金の星」などの雑誌に掲載され、西條八十からは若き巨星と称賛された。

事務局 北斗市総務部総務課交通防災係
電話 73-3111 (内線 212) Fax 73-6970 メール bosai@city.hokuto.hokkaido.jp